



2024年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月15日

上場会社名 株式会社IKホールディングス
コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 飯田 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-380-0260

四半期報告書提出予定日 2024年1月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績(2023年6月1日～2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	6,695	7.5	65		64		4	
2023年5月期第2四半期	7,239	11.3	101		82		186	

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 10百万円 (%) 2023年5月期第2四半期 191百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	0.54	
2023年5月期第2四半期	24.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	6,333	1,981	30.3
2023年5月期	6,788	1,970	28.3

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 1,916百万円 2023年5月期 1,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年5月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期		0.00		0.00	0.00
2024年5月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日～2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,588	4.2	378		377		135		17.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年5月期2Q	8,308,000 株	2023年5月期	8,308,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年5月期2Q	597,076 株	2023年5月期	621,276 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年5月期2Q	7,695,055 株	2023年5月期2Q	7,678,062 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は経営環境の変化により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要等の回復を中心に社会経済活動が緩やかに回復しております。しかしながら、緊張状態が続く国際情勢の動向に加え、原油・原材料価格の高騰、円安の進行等により、物価上昇や金利・為替の変動による景気への影響は依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループはローリング方式による中期経営計画「IK WAY to 2026」を策定し、経営成績のV字回復に取り組んでおります。具体的には、重点商品に位置付けている韓国コスメのプーストアップを図るため、売れ筋商品のキメ細かな発注による売り逃しの防止と販路拡大に注力しつつ、企業価値向上を成し遂げるため経営理念であります「ファンづくり」に取り組んでおります。

売上面では、重点投資領域である韓国コスメのプーストアップと収益基盤であるセールスマーケティング事業の立て直し、及び自社のTVショッピング「プライムダイレクト」においては、引続き媒体効率を重視した放映に徹してまいりました。

商品面では、韓国コスメブランドの充実と品ぞろえを強化するなど化粧品品の拡販に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,695百万円（前年同四半期比7.5%減）、営業利益65百万円（前年同四半期は101百万円の営業損失）、経常利益64百万円（前年同四半期は82百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円（前年同四半期は186百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりです。

<ダイレクトマーケティング事業>

TVショッピングにおいては、媒体効率を重視し収益に拘った放映を行ったことから、前年同四半期と比較して放映枠を大きく絞り込みました。これにより、売上高は前年同四半期比59.4%減少いたしました。SHOPルートでは当第2四半期連結累計期間に不採算店4店舗を閉鎖しましたことから当第2四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗（前年同四半期は15店舗）となりましたが、「hince」等の韓国コスメの売上好調もあり、前年同四半期比23.2%増収いたしました。これらにより、ダイレクトマーケティング事業の売上高は1,592百万円（前年同四半期比25.1%減）となり、営業利益は20百万円（前年同四半期は124百万円の営業損失）となりました。

<セールスマーケティング事業>

売上高は、韓国コスメの拡販強化により、店舗ルートで前年同四半期と比較して62.3%増収いたしました。生協ルートでは、雑貨品が微増したものの、食品が減少したことから、同ルートの前年同四半期比は4.4%の減収となりました。また、通販ルートでは前年同四半期と比較して24.8%減収いたしました。

これらにより売上高は4,861百万円（前年同四半期比0.3%増）となり、営業利益は358百万円となりました。

なお、2022年12月1日付で持株会社体制へ移行したことに伴い、全社費用の区分把握が可能になり、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しております。このためセグメント別営業損益の対前期比は記載しておりません。

<ITソリューション事業>

主力商品のチャットシステム「M-Talk」は引き続き堅調に推移しているものの、売上高は240百万円（前年同四半期比9.3%減）となり、営業損失は5百万円（前年同四半期は1百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ429百万円減少しました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が389百万円、「商品及び製品」が349百万円、それぞれ減少したことで、「受取手形及び売掛金」が265百万円増加したことによりです。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ25百万円減少しました。

主な固定資産の変動は、「投資その他の資産」が17百万円減少したことによりです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は6,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ455百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ575百万円減少しました。主な流動負債の変動は、「買掛金」が198百万円増加したこと、「短期借入金」が600百万円、「未払金」が199百万円、それぞれ減少したことによります。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ108百万円増加しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が110百万円増加したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は4,352百万円となり、前連結会計年度末に比べ466百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては1,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加しました。主な純資産の変動は、「新株予約権」が12百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想につきましては、2023年7月13日に発表した業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	971,922	582,225
受取手形及び売掛金	2,183,608	2,448,759
商品及び製品	2,250,407	1,901,403
原材料及び貯蔵品	13,676	16,040
その他	309,328	351,357
貸倒引当金	△841	△1,066
流動資産合計	5,728,103	5,298,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	82,391	79,078
土地	80,216	80,216
その他(純額)	52,803	51,637
有形固定資産合計	215,411	210,932
無形固定資産		
のれん	117,314	98,827
その他	350,142	364,948
無形固定資産合計	467,456	463,775
投資その他の資産		
その他	388,315	370,683
貸倒引当金	△10,535	△10,531
投資その他の資産合計	377,780	360,152
固定資産合計	1,060,647	1,034,860
資産合計	6,788,751	6,333,582
負債の部		
流動負債		
買掛金	672,377	870,439
短期借入金	1,350,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	653,296	674,210
未払金	738,271	539,152
未払法人税等	38,575	43,746
賞与引当金	12,324	12,344
事業損失引当金	4,021	705
その他	297,478	300,621
流動負債合計	3,766,344	3,191,219
固定負債		
長期借入金	732,989	843,424
退職給付に係る負債	155,510	153,947
その他	163,512	163,512
固定負債合計	1,052,011	1,160,883
負債合計	4,818,355	4,352,102

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	620,949	620,949
資本剰余金	681,430	681,809
利益剰余金	846,187	842,054
自己株式	△228,211	△219,322
株主資本合計	1,920,355	1,925,491
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,344	△8,971
その他の包括利益累計額合計	△2,344	△8,971
新株予約権	52,384	64,960
純資産合計	1,970,395	1,981,479
負債純資産合計	6,788,751	6,333,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	7,239,286	6,695,663
売上原価	4,127,849	3,914,956
売上総利益	3,111,437	2,780,706
販売費及び一般管理費	3,213,212	2,715,382
営業利益又は営業損失(△)	△101,774	65,323
営業外収益		
受取利息	392	322
受取手数料	546	27
為替差益	568	1,264
受取配当金	8,000	—
協力金収入	15,622	—
未払配当金除斥益	1,372	1,295
その他	9,978	2,201
営業外収益合計	36,481	5,111
営業外費用		
支払利息	4,837	5,227
事業損失引当金繰入額	8,430	—
退店違約金	4,232	620
営業外費用合計	17,500	5,848
経常利益又は経常損失(△)	△82,793	64,586
特別利益		
商標権譲渡益	30,000	—
関係会社株式売却益	6,471	—
特別利益合計	36,471	—
特別損失		
投資有価証券評価損	7,045	—
減損損失	93,454	32,651
特別損失合計	100,500	32,651
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△146,822	31,935
法人税等	39,746	36,068
四半期純損失(△)	△186,569	△4,133
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△186,569	△4,133

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純損失(△)	△186,569	△4,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△133	—
為替換算調整勘定	△4,533	△6,627
その他の包括利益合計	△4,667	△6,627
四半期包括利益	△191,236	△10,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△191,236	△10,760
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△146,822	31,935
減価償却費	21,438	38,593
減損損失	93,454	32,651
のれん償却額	17,138	18,487
株式報酬費用	15,050	15,828
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△627	221
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,911	19
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,642	△1,563
事業損失引当金の増減額(△は減少)	△1,964	△3,315
受取利息及び受取配当金	△8,392	△322
支払利息	4,837	5,227
為替差損益(△は益)	△1,360	△23
協力金収入	△15,622	—
商標権譲渡益	△30,000	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△6,471	—
投資有価証券評価損	7,045	—
売上債権の増減額(△は増加)	78,501	△265,151
棚卸資産の増減額(△は増加)	45,066	346,640
仕入債務の増減額(△は減少)	5,231	198,061
未収消費税等の増減額(△は増加)	121,463	27,218
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,266	27,802
未払金の増減額(△は減少)	△22,808	76,679
その他の資産の増減額(△は増加)	△76,116	△81,733
その他の負債の増減額(△は減少)	△15,777	△16,201
小計	58,729	451,054
利息及び配当金の受取額	8,392	322
利息の支払額	△4,856	△5,204
協力金の受取額	15,622	—
法人税等の支払額	△108,660	△36,416
法人税等の還付額	51,528	28,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,756	437,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△89,614	△105,519
無形固定資産の取得による支出	△92,561	△251,851
関係会社株式の売却による収入	10,000	—
貸付けによる支出	△2,043	—
貸付金の回収による収入	10,791	8,100
差入保証金の差入による支出	△4,252	△6,792
差入保証金の回収による収入	12,717	6,189
商標権譲渡による収入	30,000	—
事業譲受による支出	△89,529	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,492	△349,872

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	△600,000
長期借入れによる収入	100,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△361,852	△468,651
配当金の支払額	△90,407	△2,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,740	△471,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,173	△6,603
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△149,169	△389,697
現金及び現金同等物の期首残高	1,075,932	971,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	926,763	582,225

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。